

私たちはいつから「大人」になるの？

○成人式

1月15日前後に成人式が行われる。この日は、20歳のお祝いを国を挙げて執り行う。しかし、法律的には、20歳をもって大人と見なす記述はどこにもない(と思う)。刑法の処罰の対象として、20歳という年齢が区切られている。

○結婚をして家庭を持つ

結婚をすることで、家庭を持ち親から独立することを持って「大人」とみる見方もできる。結婚は、男子は18歳、女子は16歳から、民法のきまりによって結婚することができる。しかし、30歳を超えても、独身の男女はたくさんいる。彼らは「大人」ではないのか？

○選挙権をもつ

20歳になってから、国民には参政権が与えられる。国政への参加は、一人の「大人」としての身分を保障されたとみなされる。

○飲酒・喫煙ができるようになって

これも法律上では、20歳以上と規定されている。しかし、際には、それより以前に隠れて飲酒・喫煙行為が行われている。飲酒・喫煙ができるようになったことで「大人」とみなせるのか？

○大人の料金の定期券

子ども料金から大人料金へと切符や定期が変わったときには、「もう大人なんだ」と実感する。

○運転免許

運転免許証を取得できたとき。大人としての意識が高まる。

○肉体的・身体的な成長

親の身長を抜いたとき、大きくなったと感じる。女子の初潮や男子の精通が始まったとき、「もう大人の体に近づきつつある」と感じる。

○お年寄りに席を譲ることができたとき

このように、子どもたちの身の回りのふとした疑問を問題として提起し、子どもたちとともに考えあう活動をくむ。

「大人」という意味が、多様に使われていることに気づくとともに、大人としての行動とはどうあるべきかを、一人一人に考えさせる授業を行いたい。

発展的に、世界の「大人」意識の国際比較も扱うことができる。